

SAD CA 千葉

サスティナブルエリアデザイン

コミュニティアーキテクト

地域フォーラム

日本建築学会 サスティナブルエリアデザインとコミュニティアーキテクト特別研究委員会 千葉WG

サスティナブルエリアデザイン (SAD) を考える ～千葉エリアの持続可能な活動と展開～

会場 日本大学 生産工学部 津田沼キャンパス 37号館 101教室 (千葉県習志野市泉町 1-2-1)
日時 2011年3月28日(月) 14:00～17:00

地域の固有性を継承する持続可能な社会構築に向けた建築・都市・農村計画、まちづくり活動について、理念、仕組み、担い手等を検討してきました。今回、千葉エリアの持続可能な社会資本・環境の創生と継承に向けたガイドラインづくりの方向性を探ることを目的として、異なる観点から取り組まれているまちづくり事例、取り組んでいる方々を交えて、持続可能なまちづくり(SAD)について議論を深め、継続的な交流活動を促し、千葉エリアにおける地域主体の活動・組織づくり、次世代へと繋がるプラットフォームづくりの展開と体系化へと繋げたいと考えています。

プログラム

主旨説明 宇杉和夫(日本大学、特別研究委員会委員長)

司会・コーディネート 川岸梅和(日本大学、特別研究委員会委員)・太田安則(特別研究委員会委員)
海老塚良吉(特別研究委員会委員)・成岡茂(千葉県OB)

副司会・記録 北野幸樹(日本大学、特別研究委員会幹事)

基調講演

糸長浩司(日本大学生物資源科学部教授) パーマカルチャーを通じたサスティナブルエリアデザイン

岡部明子(千葉大学大学院工学研究科准教授) 千葉エリアにおける地域・環境づくりと政策

鶴飼 修(滋賀県立大学環境科学部准教授) コミュニティアーキテクトの育成実践を通して(近江環地地域再生学座)

パネルディスカッション

パネリスト

糸長浩司(日本大学生物資源科学部教授)

岡部明子(千葉大学大学院工学研究科准教授)

鶴飼 修(滋賀県立大学環境科学部准教授)

高橋賢一(NPO法人 小野川と佐原の町並みを考える会代表)

田中正治(農事組合法人 鴨川自然王国 T&T 研究所)

コメンテーター

麓 佳正(日本建築学会千葉支所長)

共催 日本建築学会千葉支所

サスティナブルエリアデザインとコミュニティアーキテクト特別研究委員会 千葉WG

後援 千葉県、我孫子市、市川市、柏市、香取市、鎌ヶ谷市、流山市

習志野市、船橋市、日本建築学会まちづくり支援建築会議

NPO法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ (予定)

資料代・参加費 500円

お問合せ

SAD&CA 特別研究委員会 千葉WG

日本大学 生産工学部 川岸研究室

E-mail: kitano.koki@nihon-u.ac.jp

TEL: 047-474-2489 (北野)

アクセス

■JR津田沼駅下車
北口4番バス乗場(京成バス)乗車
日大生産工学部下車
(所要時間約15分)

■京成大久保駅(京成電鉄)下車
徒歩約10分

